

作品 No.114



生きものの“つぶやき”:

「僕も外に出たいなあ…」

エッセイ:

このトカゲは、私の生物の先生が飼っているフトアゴヒゲトカゲです。生物の授業の際、先生が見せてくださいました。今の社会、ペットとして生き物を飼う人は沢山います。しかし生き物の身になって考えてみると、餌に困らなくて安全だけど自由がないペットとして生きるか、常に命の危険が伴うけど自由である野生の生き物として生きるか。どちらの方が生き物にとって良いことなのだろうか、どちらの生活の方が生き物にとっては幸せなのだろうか、と考えています。(214字)

生きものの紹介:

フトアゴヒゲトカゲ

森林から砂漠にかけての様々な環境に生息する。昼行性。危険を感じると口を開け喉の皮膚を広げて威嚇する。食性は雑食で、主に昆虫を食べるが植物質なども食べる。

撮影場所・日時:

佐野日本大学高等学校生物室・2019年7月12日

応募者の自己紹介:

1. 仁木 日菜 (にっき ひな) / 佐野日本大学高等学校2年
2. 応援団
3. 将来の夢: 誰かの役に立てるような人間になること

審査員よりひとこと

トカゲの表情がいい！生き物の可愛らしさがよく現れています。また、自然の厳しさとペット化される窮屈さを天秤にかけると、どちらが幸せなのか？という命題が考えさせられます。